

登録コード	UAC70500	開講年度	2026				
授業題目	実験心理学研究			担当教員	高瀬 弘樹		
				副担当			
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・6時限		
				授業形態	講義		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				【授業の達成目標】		
	2 6 UAカリ・総人社・人間文化学, 2 5 UAカリ・総人社・人間文化学						
	【人間文化学】人間文化に関する文献・資料を収集・調査し分析・考察する人文学の伝統的な手法を身につけるとともに、他の学問分野の解析手法を併せて修得することによって、複雑多様化する現代社会の課題に柔軟な対応ができる応用力を有する。				心理学に関する文献・資料を収集・調査し分析・考察する人文学の伝統的な手法を身につけるとともに、他の学問分野の解析手法を併せて修得することによって、複雑多様化する現代社会の課題に柔軟な対応ができる応用力を有する。		
	【人間文化学】高度な言語運用能力とコミュニケーション能力を基盤として、多領域のステークホルダーと協働し、現代社会の課題に取り組みながら、独創的かつ多文化共生的な英知の創成と提案を行う力を有する。				高度な言語運用能力とコミュニケーション能力を基盤として、多領域のステークホルダーと協働し、現代社会の課題に取り組みながら、独創的かつ多文化共生的な英知の創成と提案を行う力を有する。		
(2)授業の概要	認知心理学の研究方法を学んだ上で、認知心理学研究の実際について、受講生の担当を決め、発表し討論を行う。本授業では、複雑で多様な環境の中で、人間はいかに意味のある情報を知覚し行為を組織化しているかに関して研究するための方法論を学ぶ。その後、眼球運動および身体動作を扱った知覚と行為に関する研究を取り上げ、受講生による発表・討論を行う。また、測定機器を操作して、実際に眼球運動と身体動作を測定、分析を行う。						
(3)授業計画	第1回： ガイダンス 第2回： 認知心理学の基礎 第3回： 認知心理学研究の方法：研究計画（概説と討論） 第4回： 認知心理学研究の方法：データ集録（概説と討論） 第5回： 認知心理学研究の方法：データ解析（概説と討論） 第6回： 認知心理学研究の方法：統計的検定（概説と討論） 第7回： 認知心理学研究の実際：眼球運動の生理的基盤（発表と討論） 第8回： 認知心理学研究の実際：眼球運動の測定法（発表と討論） 第9回： 認知心理学研究の実際：眼球運動の分析法（発表と討論） 第10回： 認知心理学研究の実際：眼球運動の研究事例（発表と討論） 第11回： 認知心理学研究の実際：3次元動作解析とは（発表と討論） 第12回： 認知心理学研究の実際：3次元動作解析の種類（発表と討論） 第13回： 認知心理学研究の実際：3次元動作解析法（発表と討論） 第14回： 認知心理学研究の実際：3次元動作解析を用いた研究事例（発表と討論） 第15回： まとめ 授業終了後に期末レポートを課す。 なお、状況に応じて、予告した内容を変更する場合がある。						
(4)成績評価の方法	●以下を総合して判定する。 授業への取り組み方（50%）、レポート（50%） 評価割合は若干の調整を行うことがある。 ●得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(5)成績評価の基準	【卓越している】認知心理学研究に関する基礎的な知識をもとに、適切な情報処理を行い、論理的に思考し、数量的に思考し、自律的に考える力を総合して、極めて高い水準にある。 【かなり上にある】認知心理学研究に関する基礎的な知識をもとに、適切な情報処理を行い、論理的に思考し、数量的に思考し、自律的に考える力を総合して、非常に高い水準にある。 【やや上にある】認知心理学研究に関する基礎的な知識をもとに、適切な情報処理を行い、論理的に思考し、数量的に思考し、自律的に考える力を総合して、高い水準にある。 【その水準にある】認知心理学研究に関する基礎的な知識をもとに、適切な情報処理を行い、論理的に思考し、数量的に思考し、自律的に考える力を総合して、一定水準にある。						
(6)事前事後学習の内容	授業への参加にあたっては、事前に担当教員によって指示された認知心理学における幾つかの論文や資料を精読してくる必要がある。授業内で議論され、指摘された点は事後学習の材料とする。						
(7)履修上の注意	心理学総合演習、心理学理論研究を履修済みの学生が履修する。 学部における「心理学概論」「心理学研究法」「心理学統計法」程度の講義を受講済みであることを前提に授業を進める。						
(8)質問、相談への対応	火曜日の12:30から13:20をオフィスアワーとする。相談のある学生は、事前にメールにてアポを取る。こと。アドレスは、takaseh (at) shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	使用しない。						
【参考書】	箱田裕司・都築誉史・川畑秀明・萩原滋 （2010）. 認知心理学 有斐閣 3,740円（税込）						